



Profile



☆ Conductor / 阿部真也 Shinya ABE

幼少よりピアノを、13歳よりヴァイオリンを始める。1997年渡米。サンフランシスコ音楽院ヴァイオリン、ヴィオラ科修了。在学中にヨーロッパ国際室内楽音楽祭、アスペン音楽祭、ポジターノ音楽祭など数多くの音楽祭に参加。2005年より拠点をドイツに移し、オーケストラ指揮者として研鑽を積む。2006年コルドバ国際指揮者コンクール入賞。2007年よりエドワードサイド音楽院弦楽科、室内楽科教授に就任し、現在は客員教授として席を置いている。東京を中心に2007年より室内楽コンサートを主催し、現在は47回を数える。2009年より小林研一郎氏率いる「コバケンと仲間達オーケストラ」首席ヴィオラ奏者。2010年より2年間ロームミュージックファンデーションより在外研究生として助成を受ける。2011年「パレスチナ音楽日記」を出版。2012年CHANELピグマリオン室内楽シリーズヴィオラ奏者に選ばれる。現在は国内外において客演首席奏者、客演指揮者を務めるほか、ナント・ラフォールジュルネ、アスペン、アフィニス、ロストロポービッチ、Ebb&Flow Art 近現代音楽祭等に出演。横浜シンフォニエッタヴァイオリン、ヴィオラメンバー。後進の指導にも力を注いでいる。

☆ Cellist / マルモ・ササキ Marumo SASAKI

音楽家の両親と共に4歳でイタリアに渡る。パドヴァ国立音楽院（伊）チェロ科首席卒業。ローザンヌ音楽院（瑞）ヴィルトゥオーソクラスを一等賞及び名誉賞を得て卒業。その後、ベルリン国立芸術大学大学院（独）ソリストクラス修了。これまでにW. ベットヒャー、D. グリンガスなどに師事。ジェノヴァ国際音楽チェロ・コンクール（伊）、アスペッタルティ国際音楽コンクール（伊）他、多数優勝。チッタ・ディ・チェント・コンクール（伊）優勝、併せて報道特別賞を受賞。ローザンヌ室内管弦楽団、バーデン＝バーデン・フィルハーモニー管弦楽団等のソリストとして協演。L. バーンスタイン創立のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭管弦楽団で首席チェロ奏者を務める。父と姉妹で結成された「パドヴァ・トリオ」での活動の他、ベルリン・フィルハーモニー・ホールでの室内楽演奏、アメリカ、モロッコ等をツアー。ベルリン国立歌劇場管弦楽団（音楽監督D. バレンボイム）に初のアジア人・永久正団員として入団し6年間在籍、フォアシュピラーも務める。ソロCD [チェロペラ～歌劇場の思い出] をリリースし好評を得る。「東京・春・音楽祭」デュオ・コンサート、コバケンとその仲間たちオーケストラ（客演首席奏者）演奏会などソロ及び室内楽で活躍。”サイクロンのように激しくダイナミックな演奏…多彩な音色…”、“サン＝サーンスのコンチェルトを素晴らしい輝きを持って演奏した”と評され欧州、日本で幅広い演奏活動を行っている。



■ チケット販売先

逗子文化プラザ・なぎさホール
046-870-6622
逗子レコードショップ
046-871-3017

■ 逗子文化プラザなぎさホール案内地図

電話 046-870-6622
京浜急行「新逗子」駅より徒歩2分
JR「逗子」駅より徒歩5分
有料駐車場あり



Chamber Orchestra
Kamakura Sinfonietta

